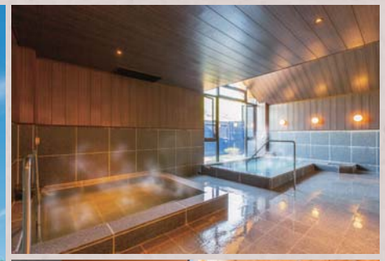
THE UKI NEWSLETTER

地域間交流施設 金桁温泉が グッドデザイン賞を受賞

サンカク屋根が「三角」と旧５町が合わさった宇城市を表す



住民と観光客が一緒に憩える居場所が評価

昨年7月にオープンした地域間交流施設 金桁（かなけた）温泉が、2021年度グッドデザイン賞を受賞しました。

グッドデザイン賞の受賞は、社会を導く「よいデザイン」であることを人々に伝えることができ、受賞作のアピールやイメージアップにつながります。

金桁温泉は、豊かな自然に調和しながらもシンボリックなデザイン。「地域の憩いの場」と「観光拠点」を兼ねた地域間交流施設として整備しています。

子どもからお年寄りまで安心・安全で、誰もが使いやすい施設づくりに努め、明るく温かみのある内装デザインで多くの人々が気軽に立ち寄りたくなるような空間になっています。

審査では、歴史ある炭酸泉の復活や訪れたくなる特徴的な形態ながら周囲の環境になじむ屋根、地域住民と観光客の両者が憩える居場所となっている点が評価されました。

このグッドデザイン賞をきっかけに、これまで以上に市内外から利用されるよう、さらなる魅力をつくり出していきます。

グッドデザイン賞

デザインによって暮らしや社会をより良くしていくための活動として設立。審査を通じて新たな「発見」をし、社会と「共有」することで、次なる「創造」へつなげていく仕組み。1957年から始まり、（公財）日本デザイン振興会が運営している。

data

金桁温泉

営業時間　10時～19時
最終受付18時30分
休館日　毎週㈫㈬（祝日の場合は翌日）、12月30日～1月1日
入浴料　中学生以上　300円
小学生　150円
未就学児　無料

問 三角支所 経済建設課 ☎(53)1111

初めてでも楽しいオープンな美術館

まちの小さな美術館として愛されてきた不知火美術館。より地域に親しまれる文化施設となることを目指し、来年4月の再開館へ向け準備しています。

市にゆかりのある芸術家たちの素晴らしい作品と出会える展示に加え、アーティストと一緒に創作したり、みんなでまちのことを考えたり、アートに触れてほっと一息つく時間を過ごしたりと、多様な過ごし方、関わり方の機会をつくっていきます。

アートは、一人一人の違いを「個性」として尊重し、未知の世界や人と出会い、まだ見ぬ未来を共に想像する土台となるもの。

小さいお子さんから大人まで、初めてアートに触れる人にも楽しめる展示やイベントを開催し、小さいからこそできる、まちと密接で、開かれた美術館を皆さんと一緒に作っていきます。

実は身近なアートの世界

美術館は敷居が高いという声を聞くこともありますが、まずは知ってもらい、お越しいただきたいですね。「すごい」と思った大作が、実は昔からの知人や、身近な方の作品であることもしばしば。地域の美術館だからこそ、出会える作品があります。貸し館では、自分で創作した作品も展示できます。

図書館にお越しのときは、美術館にふらっと立ち寄ってみませんか。

成松 英隆 美術館館長

不知火と小川に復興会館が誕生

熊本地震で使用した仮設住宅を利用して作られた復興会館が、10月8日に不知火、14日には小川に誕生しました。

不知火は、絆と友情を深め、気軽な仲間づくりができる施設として「不知火ゆうあい館」と命名。一方小川は、1000年以上前からこの地域を表す名称にちなんで「小川刈萱（かるかや）館」と名付けられました。

市民の誰もが使用できる地域コミュニティーの拠点として活用されます。

不知火ゆうあい館

小川刈萱館

問 各支所総合窓口課
不知火支所 ☎(33)1111
小川支所 ☎(43)1111